

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 2 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
社会福祉法人として地域に信頼され、無くてはならない存在となり持続的な地域福祉の実現に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
法人の持つ施設と人材を最大限に活用し、福祉サービスの提供と住民や関係機関との連携を図りながら、地域、職員、利用者が幸せになれるような事業運営と支援活動を行っている。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
	一般社団法人及び学生ボランティアと連携した生活困窮家庭児童の居場所づくりと学習支援活動を継続し、それらに参加する新たなボランティア、職員を合計で5名増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週学習支援、生活支援活動を継続。 ・新たな学生ボランティアも10名参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人及び学生ボランティアと連携した生活困窮家庭児童の居場所づくりと学習支援活動の開催（各50日/年）それらに参加する新たなボランティア、職員を合計で5名増やす。
	一般社団法人と連携し実施する生活困窮家庭児童支援において、持ち帰り夕食の無償提供としても継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援、生活支援活動時持ち帰りの夕食を無償提供。 ・年末にスーパーよりおせちの提供があり、必要な家庭に配達。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人と連携し実施する生活困窮家庭児童支援において、夕食の無償提供の継続。
	学校、地区社協、民生委員、町内会等との更なる連携強化を図る。また北沼上学区自治会連合会と協力し移動支援に関する話し合いを再開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・北沼上学区の移動支援に関して地区社協との協議を進め、来春以降で運行予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西奈地区社協と連携し目的地まで行ける移動支援を実施。 ・西奈図書館と連携し専門職が推薦する書籍の展示を年1回実施。
	西奈地区児童の学習支援と不登校児童への支援に関わるボランティア・職員を増やし、支援や連携の増回を図る。また自主夜間教室への参加を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週学習支援と不登校児童の居場所活動を継続。不登校児童生徒の受け入れ人数も増加。 ・自主夜間教室への月1回参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西奈地区児童の学習支援と不登校児童への支援に関わるボランティア・職員を5名増やす。 ・自主夜間教室へ月1回参加する。
	空調設定温度の明示と周知を引き続き図り、消費電力の2%削減を目指す。	コロナ禍による常時換気の徹底により削減目標を達成できず。	空調設定温度の明示と周知を引き続き図り、消費電力の2%削減を目指す。
	職員の離職率10%以下を目指す。	正規職員の離職率は10%以下となったが非常勤職員は10%を上回ったため、合計では10%以下は達成できず。	職員の離職率10%以下を目指す。
	就労に課題を抱える若者の継続的な雇用への支援を進める。障がい者のやりがい創出や地域との交流機会をさらに増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に課題を抱える若者5名をサポート。 ・障がい者生活介護事業所にて企業から仕事を請負い内職の実施。工賃支払い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に課題を抱える若者の5%以上に継続的な雇用支援を行う。 ・障がい者のやりがい創出や地域との交流機会をさらに増やす。
	施設車輛活用の無料バス運行と青色防犯パトロール、野菜販売場所の提供、老人会のサポート、認知症カフェの別会場でも開催を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・無料バスは運行まで出来ず地区社協と協議を継続中。 ・青色防犯パトロール化し更新研修会開催、認知症カフェの継続実施。 ・認知症カフェ、別会場実施についてはコロナ禍により見合わせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設車輛活用の無料バス運行実施 ・青色防犯パトロール日数120日/年、野菜販売場所の提供、老人会のサポート、認知症カフェ参加者数200名/年
	不要な電気の節約、裏紙の使用、古紙のリサイクル、事務機器等のリサイクル、ペーパーレスへのIT活用の徹底を継続する。	裏紙使用によるコピー用紙、電気料金の削減への効果は限定的。	不要な電気の節約、裏紙の使用、古紙のリサイクル、事務機器等のリサイクル、ペーパーレスへのIT活用の徹底を継続する。
	ウォーターサーバー2台の増設により、さらにマイボトル持参を拡げ、紙コップやペットボトルの使用を減らす。	マイボトル持参により1割の紙コップ等の削減ができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターサーバーによる紙コップの3割削減 ・施設内設置の自動販売機内のペットボトル商品の30%を7L缶に変更
	環境に良い有機肥料での野菜栽培、環境に優しい新素材による名刺の使用を継続する。	有機肥料の使用を継続、全職員の名刺を完全に新素材に切替完了し使用を継続。	環境に良い有機肥料での野菜栽培、環境に優しい新素材による名刺の使用を継続する。
	送迎車両等へSDGsステッカー貼付、職員へSDGsバッジ配布、自社ホームページでのSDGs取り組み報告等を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自社ホームページ内のSDGsコンテンツリニューアルにより取り組みアピールを強化 ・車庫入れ替後もSDGsステッカー継続 ・高校のSDGsフィールドワークに社会福祉士が対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用したSDGs取り組み投稿（年6回） ・行政等主催のSDGs啓発行事へ参加（1回/年）

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	社会福祉法人天心会	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	5 事業所
2	業 種	1 2. 医療、福祉	
3	従業員（構成員）数	195 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	理事長
		氏 名	中野菊乃
5	所 在 地	〒 420-0903	
		静岡市葵区長尾89-1	
6	ホームページURL	http://www.love.or.jp	